



障害のある学生支援・車いす・作業療法・多職種連携教育

作業療法学科

松尾 彰久 准教授

【研究分野】

障害学生支援

【キーワード】

障害学生支援、作業療法、福祉機器、自助具

【URL】

<https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=185matsu>



研究概要

障害学生支援では、**多職種が連携**して学生の支援を実施します。そのような中、わたしは**作業療法士**という専門職の立場から、**福祉機器の活用**や**環境の調整**を通して学生への支援を実践しています。

2013年に成立した障害者差別解消法は2016年より施行され、2020年の見直しに関する意見書の取りまとめ、事業者団体・障害者団体ヒヤリングを経て、2021年6月には改正法が成立しました。改正法では国や地方公共団体だけでなく事業者についても**合理的配慮**の提供を義務としました。障害学生支援のあり方も日々進化しており、新しい障害学生支援の取り組みやあり方について研究しています。

講座テーマ紹介

●障害学生支援に関連する講座

(専門職講座)

- ・「障害のある学生支援には、どのようなものがあるか？」
- ・「学校教育における合理的支援の考え方」

●多職種連携に関連する講座

(専門職講座)

- ・「多職種連携とは？ 多職種連携の基本を学ぶ」

●車いすについて

(一般講座)

- ・「車いすに関する実技指導」
- ・「車いすから考えるユニバーサルデザイン」

●作業療法について

(一般講座)

- ・「作業療法とは？ 作業療法の基本を学ぶ」

アピールポイントなど

車いすの操作・介護・介助方法については一般向けの講座で、作業療法については高校生・中学生向けの講座で多くの経験があります。

障害学生支援についてはアドハイザーとして複数の大学で実践中です。障害者差別解消法は改正され、今、制度と合わせて実践を知ることは有益なことといえるでしょう。